



松ヶ崎小学校だより

令和 8年 2月27日
校長 金谷 勝弘

一年の締めくくり3月！ 150年の締めくくり令和8年3月！



弥生三月、校庭の梅のつぼみがほころび、やわらかな春風に季節の移ろいを感じる頃となりました。長かった冬を越え、日差しの中には春の訪れが感じられます。

この一年、子どもたちは日々の学びや行事、友だちとの関わりを通して、大きく心と身体を成長させてきました。うまくいったことも、思うようにいかなかったことも、すべてが次へとつながる大切な経験です。

保護者や地域の皆さまには、令和7年度を通して温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。あと残り一か月、子どもたちは、松ヶ崎での生活を満喫します。次へのステップのためにも、今以上に、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思えます。



キラビト集会

4日(水)は、最後のキラビト集会でした。児童たちは、なわとび、昔あそび、ソフトボール、サッカー、ピアノなどいろいろなことにチャレンジし、自分の特技を披露してくれました。この日の発表に向けて、昼休みに練習をしたり、家で猛練習したりし、本番にのぞみました。とてもかっこよく、みんな輝いていました。



閉校記念制作 (書道パフォーマンス)

10日(火)、全校児童で閉校記念制作(書道パフォーマンス)をしました。校歌の歌詞の1番から3番までをみんなで、大きな半紙に一人ひとりが漢字、ひらがなを書きました。各パートでは、みんなで協力しあって取り組みました。最後に6年生が、「感謝」「愛」「前進」の三文字を大きく描きました。とても素敵な作品ができました。この作品は、卒業式、閉校式などで掲示します。

